

令和元年度 串間市立金谷小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

学校経営ビジョン：豊かな心を持ち、自ら考え、正しく判断し、進んで実践するたくましい児童の育成

【評価】 4：よい、3：だいたいよい、2：もう少し、1：よくない

重点目標	評価項目	平均（4点満点）						考察及び改善策	学校関係者評価委員の意見
		児童	保護者	委員	職員	平均	総合		
体力・危機回避能力の育成【体】	① 学校は、避難訓練、集団下校等をとおして、危機回避能力の育成に努めている。	3.8	3.8	4.0	3.6	3.8	3.7	総合評価は、4点満点中「3.7」で、達成率92.5%である。 ①の「危機回避能力の育成」については、「3.8」と高い評価を得た。これは、避難訓練、集団下校の実施はもとより、津波避難に関する内容や危険箇所マップの掲示等による成果だと考えられる。 ②と③に関する評価平均は「3.6」だが、職員の評価が低い。CとD評価の児童の体力向上が課題である。 「体力・危機回避能力の育成」については、児童の生命・安全にかかわる項目なので、次年度も引き続き、重点項目にしたい。	①については、市の防災無線やメディアの防災情報等への関心が高まっていることから、避難訓練等を通じた危機回避能力の育成が図られていると感じた。しかし、登下校時に周囲の安全を確認せず、急に走りだすことが見受けられるので、交通安全意識については継続して指導する必要がある。 ②については、外遊びは多く感じるが、体を動かす遊びをしている児童は少なく感じる。 ③については、学校の指導はとも充実していると感じるが、保護者の仕事の状況等により家庭での指導が十分ではないと感じている。
	② 学校は、体育の授業や「体力向上」の時間等をとおして、体力向上に努めている。	3.7	3.7	4.0	3.1	3.6			
	③ 学校は、食育指導や健康指導をとおして、健康的な生活習慣の定着に努めている。	3.8	3.8	3.7	3.0	3.6			
豊かな心の育成【徳】	④ 学校は、命を大切に教育や人権教育をとおして、思いやりの心の育成に努めている。	3.7	3.7	4.0	2.8	3.6	3.6	総合評価は、4点満点中「3.6」で、達成率90%である。 ④と⑤に関する評価平均は「3.6」だが、職員の評価が低い。④に関しては、児童間のトラブルや日常の行動観察等から「十分に育っている」とは言い難い」との意識の表れである。⑤に関しては、挨拶や返事の際の「声の大きさをもっと高めてほしい」との思いや児童が使用した「道具等の片付けが十分でない」ことが見られることへの評価である。 「豊かな心の育成」については、「思いやりの心」や「基本的な生活習慣の形成」等に係る項目なので、次年度も引き続き、重点項目にしたい。	④については、ライバル心の強さから、普段の何気ない会話や発言の中に人を傷つける言葉を発していることがある。学校や家庭で言葉の意味や重さを学ばせる必要がある。 ⑤については、挨拶はよくできていると思う。返事については頷くなどの動作ではなく、言葉に出して返事を行う態度を身に付けさせたい。片付けに関しては、「いつ」「どのように」片付けるのかを理解させて取り組ませて欲しい。 ⑥については、上級生や下級生としての意識をもって仲良く過ごしている。また、学校行事等をとおして互いに協力し合う姿が見られた。
	⑤ 学校は、「挨拶・返事・片付け」等の基本的な生活習慣の定着に努めている。	3.8	3.8	4.0	2.4	3.5			
	⑥ 学校は、縦割り清掃やボランティア等での異学年交流等をとおして、豊かな人間関係の育成に努めている。	3.7	3.7	4.0	3.1	3.6			
確かな学力の向上【知】	⑦ 学校は、「分かる・できる」授業をとおして、学力の向上に努めている。	3.7	3.7	4.0	2.9	3.6	3.5	総合評価は、4点満点中「3.5」で、達成率87.5%である。 ⑦については、評価委員・職員ともに期待値の「3.6」（90%）を下回っている。職員の「2.4」は「家読」の推進が十分でなく、取組意識が低かったと判断したためである。児童・保護者の数値については「3.6」を示しているが、評価委員の「2.7」については、職員同様、家庭で読書をする姿を見ていないからだと考える。 ⑦の学力向上について、職員の「2.9」は、全国及び県の学力調査において、全学年とも全国及び県の平均を上回っているが、個人差の対応が課題である。	⑦については、家庭学習の際に「応用問題」でつまづいたり悩んだりする場面を多く見た。「応用問題」に関する指導の充実も願いたい。 ⑧について、いろいろな機会を利用して作品を応募していただき、うれしく思う。新聞等で「金谷小」とあると誇らしく思う。また、参観等で積極的に自己表現や主張を行う場面が多く見ることができた。 ⑨については、学校から何冊もの本を持って帰っても読む姿を見ない。保護者が、スマートフォンではなく、本を読む姿を子どもたちに見せて欲しい。また、読むことで情景を思い浮かべたり、表現の仕方や言葉を覚えたりすることが不十分だと感じる。
	⑧ 学校は、集会における発表や作品応募をとおして、表現力の育成に努めている。	3.8	3.8	4.0	3.4	3.8			
	⑨ 学校は、読書の時間や「家読」をとおして、読書の習慣化に努めている。	3.6	3.6	2.7	2.4	3.1			
開かれた学校づくりの推進	⑩ 学校は、くしま学、海洋教育をとおして、「くしま愛」の育成に努めている。	3.8	3.8	3.7	3.3	3.6	3.7	総合評価は、4点満点中「3.7」で、達成率92.5%である。 ⑩については、職員の評価が低い。海洋教育に対する年度末のまとめと発表が十分にできなかったからだと考えられる。 ⑪について、「授業に外部講師の活用は図られている。」と考える。次年度は、新学習指導要領の全面实施に伴い、総合的な学習の時間や社会科等の指導年間計画を見直し、さらに外部講師の活用等を行いたい。	⑩については、「海洋教育」をとおして様々な角度から串間のことを学んでいると感じている。自分たちの地域について学習することは、子供たちの将来に役立つと思う。 ⑪については、今後も本年度の活動を継続できればよいと思う。また、串間市の交流活動において、他校の児童との交流は、中学校に入学したときに友達として活動できるので良いと思う。 ⑫について、学校だよりや学校WEBをとおして、学校の様子を見ることができるようは大変良いと思う。参観日等の行事には、地域への参加呼びかけがあるとよい。
	⑪ 学校は、授業に「地域の内容」や「外部の人材」活用をとおして、開かれた学校づくりに努めている。	3.6	3.6	3.7	3.0	3.5			
	⑫ 学校は、学校だよりや学校WEBをとおして、広報活動に努めている。		3.8	4.0	3.8	3.8			